

海へ帰るおじさん

小川未明

青空文庫

赤いボールを沖に向かつて投げると、そのまりは、白い波の間にもまれて、浮きつ沈みつしていましたが、そのうちに、ざあつと押し寄せる波に送られて、また武ちゃんや、ゆう子さんのいる渚にもどつてきました。

「おじさんの舟が、見えないかしらん。」

「また、たくさんお魚を捕つてくるでしょう。」

そのうちに西の空が、紅くなりました。ひよっこりと前方へ、黒い小舟が波のうちから浮かび上がりました。あちらにも一つ、ずつと遠くの方にも、豆粒のようなが見えています。

「もう、舟がみんな帰つてくるんだね。」

小さい兄と妹は、立つてながめていました。いずれも沖の方へ釣りに出た舟でありました。

「たこを釣ってきたぞ。」と、おじさんは、舟の上から、いいました。

武ちゃん、ゆう子さんは、おじさんたちが、舟を砂の上へ引き上げる、おてつだいをしました。舟の中には、銀色の魚がぴちぴち跳ねています。海水浴にきている人々が、舟のまわりにあつまつて、わあわあいつてにぎやかでした。武ちゃんが、

「おじさん、たこをお家へ持つて帰つてもだいじょうぶ？」と、聞きました。するとおじさんは、

「途中で死んでしまいますよ。お土産には、かにがいいでしょ

う。」と、答えました。

武ちゃんたけと、ゆう子こさんは、ここへきてから、おじさんと仲なかよしになりました。

「おじさん、僕ぼくたちの町まちへおいでよ。晩ばんは夜店よみせがででてにぎやかだから。」と、武ちゃんたけが、いいました。

「妹いもうとが、あちらへお嫁よめにいつていまして、兄にいさん、ぜひ一度どおいでなさいといえますから、坊ぼっちゃんたちの好きすなかにと、お嬢じょうさんたちの好きすな海うみほおずきと、お父とうさんたちの好きすな松まつでも持もつて、商あきないかたがたまいますかな。」と、おじさんが、答こたえましました。

「きつと、売うれてよ。」と、ゆう子こさんが、いいました。

「そうしたら、僕ぼく、お友ともだちにいつて、みんなかにを買かってあげるから。」と、武たけちゃんが、いいました。

「ええ、じき、あとからまいります。」と、おじさんは、笑わらって、いいました。

武たけちゃんに、ゆう子こさんが、海かい水すい浴よくから帰かえると、まもなく九月がつになって、学が校こうがはじまりました。けれど、まだなかなか暑あつい日ひがつづいたのです。晚ばんには、お母かあさんや、お父とうさんにつれられて、二ふ人たりは、町まちへ散さん歩ぽに出でて、露ろ店てんを見みて歩あるいたのでありまし
た。

「おじさんは、どうしたろうな。」と、武たけちゃんが、いうと、
「きつと、用よう事じがあつてこられなくなつたんでしよう。また来らいね

年会あひわれますよ。」と、お母かあさんは、おつしやいました。

おじさんは、お約やくそく束たばをしたように、東とうきよう京きやうへやつてきたのです。そして、毎まいばん晩ばんのように、露ろてん店てんへかにと、海うみほおずきと、松まつを出だしていました。しかし、そこは、武たけちやんや、ゆう子こさんの住すむ町まちからはなれていたので。武たけちやんのような男おとこの子こがかにを買かうと、おじさんは、武たけちやんではないかと、その子この顔かおをのぞきました。また、ゆう子こさんのような女おんなの子こが海うみほおずきをかかうと、ゆう子こさんではないかと、おじさんは、後うしすがたろ姿すがたを見送みおくりました。けれど、ついに二人ふたりには出であわなかつたのです。そのうちに、松まつの木きは都と会かいの煙けむりや、ほこりがかかつて、だんだん元げん氣きがなくなりました。夜よ風かぜが吹ふくと、松まつの木きはあの海かい岸がんの岩いわ山やまを

なつかしく思おもいました。

「おいおい、さばが釣つれるころだ。おれも、浜はまへ帰かえろうか。」と、おじさんは、ある日ひ、残のこったかにや、海うみほおずきや、松まつの木きを車くるまに乗のせて、避暑客ひしよきやくも少すくなくなつて、静しずかになつた、自じ分の村むらを指さして帰かえつていきました。空そらの星ほしの光ひかりが、だんだん冴さえて、町まちの中なかでも、秋あきの近ちかづいたのが、わかるようになりました。

青空文庫情報

底本：「定本小川未明童話全集 12」講談社

1977（昭和52）年10月10日第1刷発行

1982（昭和57）年9月10日第5刷発行

底本の親本：「日本の子供」文昭社

1938（昭和13）年12月

初出：「せうがく三年生」

1938（昭和13）年9月

※表題は底本では、「海《うみ》へ帰《かえ》るおじさん」となっています。

※初出時の表題は「海へかへる小父さん」です。

入力：特定非営利活動法人はるかぜ

校正：酒井裕二

2016年6月10日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.waazora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

海へ帰るおじさん

小川未明

2020年 7月13日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>

※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。

<http://tokimi.sylphid.jp/>